

村山総合支庁ニュース

—MuraSou News—

第203号 令和3年12月号 山形県村山総合支庁
発行元:総務企画部総務課総務係 TEL:023-621-8105

知事と若者の地域創生ミーティング 大江町

10月14日(木)に大江町中央公民館「ぷくらす」において「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催されました。新型コロナウイルス感染防止対策として、参加者同士の距離を取り、マスクを着用して実施しました。

参加者は高校生や農業従事者、会社員等8名の若者で、吉村知事、松田町長と対談しました。参加者からは中山間地における耕作放棄地の取得がもう少し容易にできないかという意見や、米農家の杭掛け風景などを活かした「魅せる農業」の提案などがありました。



また、高校生からは県外から帰ってきた人が働きやすい企業がほしいことや、SNSを活用した町内観光地のPR実績の紹介があり、大江町をもっと住み良い町にしたいという若者たちの熱い思いが感じられました。

知事からは、「私も棚田の風景が好きなので、農業と観光の両方を結び付けたものをアピールしていきたい。皆さんがのご縁を大切に、つながって協力していくことでもっともっと住みやすい町になる。」と応援の言葉がありました。

(総務課 TEL:023-621-8355)

令和3年度 山形県知恵袋委員会

11月4日(木)、村山総合支庁本庁舎において令和3年度山形県知恵袋委員会(村山地区)を開催しました。

当日は「山形の未来創造について」をテーマに、地区委員から「県内には様々な地域の魅力が眠っていると思うので地域の魅力の掘り起こしを支援してはどうか」、「福祉人材を確保するための取組みを充実する必要があるのではないか」、「農業者が安全に営農できるような支援を検討してはどうか」等の村山地域の更なる発展を見込んだ、幅広い分野の御提言をいただきました。

今後、関係部局と連携しながら、御提言を県の施策に繋げてまいります。取りまとめ結果については県のホームページで紹介予定です。

(総務課 TEL:023-621-8104)

【令和3年度山形県知恵袋委員(村山地区)】

- ・奥山崇さん(山形市)
- ・奥山悌二さん(西川町)
- ・落合博信さん(尾花沢市)
- ・結城和子さん(天童市)
- ・坂野晴美さん(中山町)
- ・菊地ひとみさん(寒河江市)
- ・渋谷よしえさん(大江町)



「村山地域議員協議会」開催

11月19日（金）、東南村山、西村山・北村山地域議員協議会が開催され、行政課題や施策展開等について、調査・審議が行われました。

東南村山地域議員協議会には12委員が、西村山・北村山地域議員協議会には6委員が出席し、活発な質疑応答が行われました。審議に先立ち、武田村山総合支庁長から、新型コロナウイルス感染症に関する管内の状況や、総合支庁の施策の取組状況について説明が行われました。主な審議内容は次のとおりです。

【新型コロナ関連】

- 事業継続等の相談状況
- 雇い止めの状況
- 旅館の廃業状況
- 観光者数への影響
- 児童・生徒の不登校数への影響
- 自動車税徴収への影響
- 保健所の体制強化や無症状者及び軽症者向け宿泊療養施設の運営について



【通学路の安全対策関連】

- 通学時の児童を交通事故から守るための県管理道路の安全対策事業について
- 教育委員会、道路管理者、警察による危険個所の合同点検について

【農業関連】

- 凍霜害緊急対策パッケージ2.0による無利子融資及びオイルヒーター助成について

【鳥獣被害関連】

- イノシシの捕獲状況や作物被害額
- クマの出没状況と対策について

いただいたご意見やご提言を踏まえ、本庁や市町と連携し、村山地域の活性化に向けしっかりと取り組んでまいります。

（総務課 TEL:023-621-8107）



農福連携！「現地視察研修会」

農福連携プロジェクトチーム村山地域部会では、農業分野における労働力の確保と、福祉分野における障がい者の働く場の確保や工賃向上に向けて、10月25日（月）に福祉施設の職員や農業者、特別支援学校教員等を対象とした「現地視察研修会」を行いました。

視察は（株）やまがたさくらんぼファーム（天童市）に協力いただき、障がい者による果樹の箱作り作業や農園内の草刈り作業を見学しました。研修会では、農福連携を行っている農業者や福祉事業所の担当者から体験談を伺いました。実



際に障がい者が働く姿や現場の生の声を聞くことで、参加者の農福連携への理解がより深まったようです。

参加者からは「実際の作業内容を見学出来て大変参考になった。障がい者に依頼する作業を増やしていきたい。」等の声が多く聞かれ、農福連携の更なる広がりへの期待が感じられました。

（地域健康福祉課 TEL:023-627-1145）



おいしいごはんポスターコンクール表彰式を行いました

農業への理解と米の消費拡大を目的に、管内の小学生を対象に実施している「村山地域おいしいごはんポスターコンクール」の表彰式が11月5日（金）に村山総合支庁講堂で行われました。

今年で31回目の開催となるコンクールには、管内74校から過去最多となる1531点の応募をいただきました。受賞作品と作品を使用したカレンダーは、県のホームページから御覧になれます。

（農業振興課 TEL:023-621-8386）

【最優秀賞】
尾形穂南さんの作品



*** 審査結果 *** おめでとうございます！

- 最優秀賞 尾形 穂南さん（天童市立天童北部小学校6年）
- 優秀賞 勝部 愛央さん（山形市立第一小学校1年）
- 優秀賞 森本 悠文さん（山形市立第四小学校2年）
- 優秀賞 田井地菜月さん（山形市立宮浦小学校3年）
- 優秀賞 村上 陽さん（上市市立南小学校4年）
- 優秀賞 江口 奏来さん（山形市立金井小学校5年）
- 佳作 12点

電気柵を利用した簡易放牧の実証調査

近年、村山地域では繁殖牛の増頭が進んでおり、飼料の確保や管理労力の省力化が求められています。こうした課題に対応するため、村山総合支庁は「和牛（繁殖牛）を活用した地域農業の活性化事業」を実施し、容易に整備可能とされる電気柵を利用した簡易放牧の普及を目指しています。



電気柵設置の様子

今年度は、西川町と連携して同町内にある仁田山放牧場に実証区画を設け、実際に繁殖牛を放牧し、労力や経費、牛の行動について調査を行いました。その

結果、施設整備は重機などを用いることなく、人力での軽作業で済み、費用は通常の放牧施設の半分程度となりました。

また、放牧された牛たちは、すぐに電気柵に慣れて、ゆったりと草を食み、細い電線で囲まれただけでも、逃げ出す牛は見られませんでした。

今後は、調査結果を啓発資料として取りまとめ、来年度のモデル地域における実践につなげていきます。

（農業振興課 TEL:023-621-8382）



みんなで減らそう！「食品ロス」

食べ残しや売れ残りなど様々な理由で、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といい、食品の生産や流通に要したエネルギーのみならず、廃棄に要するエネルギーまでもが無駄になります。食品ロスは環境の視点だけでなく、食料の視点でも世界の重要な問題となっています。「食品ロスを減らす方法」を参考に、食品ロス削減のためできることから始めましょう。

このほか、県では食品ロス削減に取り組むお店を「もったいない山形協力店」として認証しています。食事の際は認証店を積極的にご利用くださいますようお願いいたします。

（環境課 TEL:023-621-8422）

食品ロスを減らす方法

- ◎消費期限（過ぎたら食べない方がよい期限）と賞味期限（おいしく食べられる期限）の違いを理解し、食べられる食品をむやみに捨てない。
- ◎買い物前に冷蔵庫の中身をチェックし必要なものだけを購入する。（スマホで写真を撮ると簡単！）



協力店一覧QRコード

12 つくる責任
つかう責任



「やまがた野菜料理フェア」開催!



村山地域において郷土の食材として受け継がれてきた「山形赤根ほうれんそう」などの「村山伝統野菜」と、生活や風土に根ざし季節を感じさせる「セルリー」などの「村山特産野菜」とを総称して「やまがた野菜」といい、現在58品目が認定されています。

そんな「やまがた野菜」の利活用と消費拡大を図るため、「やまがた野菜」を使用したオリジナル料理が協賛店で味わえる「やまがた野菜料理フェア」を11月6日（土）から28日（日）にか

けて、村山地域の料理店22店で開催しました。フェアに先立ち、11月4日（木）にはオープニングイベントを実施しました。生産者、飲食関係団体、流通販売業者、旅行業者などが参加し、旬の「やまがた野菜」を味わっていただきました。また、フェア期間中は「山形赤根ほうれんそう」を使用したパスタやつけ蕎麦、「セルリー」を使用した和え物、餃子、アイスなど各店、趣向を凝らした料理が提供され、参加者は顔をほころばせながらオリジナル料理を味わっていました。



（地域産業経済課 TEL:023-621-8447）

「スイーツと癒しマップ」で仙山交流!!

村山エリアと仙台・松島エリアは「仙山交流」として、官民が連携した取組みを進めており、観光分野では、仙台市中心商店街での「紅花まつり」のPRなどを通じて親交を深めてきました。

今回、新型コロナウイルスによる影響で行動が制限された中でも、お取り寄せの品を楽しむことができる旅のしおりとして、「やまがた広域観光協議会」と「仙台地方振興事務所」が連携して「スイーツと癒しマップ」を制作しました。

人気の和洋菓子、県産素材を使用したプリンやゼラートなどを紹介しており、スマートフォンでQRコードを読み込めばオンラインで商品を購入することができます。また、癒しを誘うカフェや自然を満喫できる施設などを掲載しています。

お取り寄せスイーツを味わいながら旅のプランを思い描いたり、お出かけしてゆったりとした空間で深呼吸したり、「スイーツ」と「癒し」で思い思いの「仙山交流」をお楽しみください。

（観光振興室 TEL:023-621-8446）

パンフレットのダウンロードはこちら!!



生産量全国1位! 「原木ナメコ」の魅力为全国へ発信!

ブナやナラの原木にナメコの菌（種駒）を植えて、自然環境で育てる「原木ナメコ」の生産量は山形県が全国1位であることをご存じでしたか? 山形県内でも特に西村山地区が主要な生産地となっています。

10月29日（金）に寒河江市幸生地区において、原木ナメコの生産振興と消費拡大につなげていくことを目的に、「原木ナメコ魅力体験活動」を開催しました。シンガーソングライターの庄司紗千さんをはじめ、ホテル



の料理長や観光企業の方などを迎え、ナメコの摘み取り体験とナメコ汁などを試食し、食材としての魅力や調理法などの新たな可能性を探りました。参加者からは「原木ナメコは独特の香りがあり、食感、風味がとても良い。」などの感想があったほか、活動内容は報道やSNSに投稿されるなど、原木ナメコ魅力を広く発信できました。



山形が誇る「原木ナメコ」。皆様もぜひご賞味ください!

（森林整備課 TEL:023-621-8285）



土木のふしぎ、教えます

～小学校で出前授業が開催されました～



「土砂災害はなぜ起こるの?」「災害から命を守るにはどうすればいいの?」子どもたちのそんな疑問にお答えする特別な授業が11月19日(金)に村山市立富本小学校で行われました。

この授業は、若い世代から建設業に興味を持ってもらい、将来の建設業界への新規参入や新たな土木技術者の育成につなげようと、(公財)日本技術士会山形県支部社会学習委員会が企画し、山形県が支援しているものです。村山管内では今年度5回開催しています。

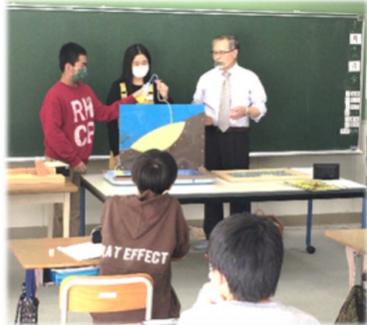
この日、富本小学校6年生の児童10人に対して行われた授業では、土砂災害が起こる仕組みや災害から身を守る方法、地すべりから富本小を守る5つの集水井などの説明があり、トンネルの強度実験やドローンの飛行見学を通して、建設業が担

う役割や重要性について学びました。

児童たちは「自然災害が起こるとき、必ず予兆があることを知った」「ドローンが飛んでいるところを見られたのが楽しかった」など、授業での興味や感想を口々に語っていました。

この授業は、来年度も村山管内の小学校で開催される予定です。

(建設総務課 TEL:023-621-8408)



行われた授業では、土砂災害が起こる仕組みや災害から身を守る方法、地すべりから富本小を守る5つの集水井などの説明があり、トンネルの強度実験やドローンの飛行見学を通して、建設業が担



ドローン操作実演中

てんどうペアレントサポート講座

9・10月に、天童市子育て未来館げんキッズで「てんどうペアレントサポート講座」を開催しました。天童市で子育て中のお母さん6人が、会場やオンラインで参加しました。



「ペアレントサポート講座」は、未就学児の保護者を対象とし、「子どもの行動で見る/考える」視点を習得し、良い行動をみつけるコツや、ほめるポイントを学ぶことが目的です。4日間コースで講義とグループワークを行います。

当日は、村山保健所の保健師が講師を、げんキッズのスタッフや天童市の保健師がサポートを務めました。参加者からは「当たり前に出ていることをほめるという視点を持つことが出来た」「子どもが何を思っているのか意識するようになった」「子どもが変わったのは、親が変わったからだと思った」などの感想をいただき、子どもとの関わり方を学ぶ有意義な時間になりました。

今年度は、他に尾花沢市、朝日町において市町と連携し、開催しています。

(子ども家庭支援課 TEL:023-627-1203)

コロナ禍での子育て支援で大切なことを学ぼう!



村山管内の公的機関と子育て支援団体で構成される「村山地域みんなで子育て応援団」は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などで孤立しやすい状況に置かれている親子への支援の在り方を学ぼうと、11月4日(木)にオンラインで学習交流会を開催し、交流会の講師として汐見稔幸先生(東京大学名誉教授・白梅学園大学名誉学長・(一社)家族・保育デザイン研究所所属)をお迎えしました。

汐見先生からは「新型コロナで社会的セーフティネットの弱さが露呈し、特に30~40代女性に深刻なしわ寄せがきている。それらに対応するためには、福祉と教育の統合や児童福祉と母子福祉の協働が必要」「困っていても声を出せない人のために安心してつぶやける場を作っていくこと、居場所づくりを新たな段階へ進めていくことが大切」などのお話をいただき、今後の支援の在り方について学べる良い機会となりました。

本交流会で学んだことは、各支援団体等と協力しながら今後の支援活動へ活かしてまいります。

(子ども家庭支援課 TEL:023-621-8178)





INFORMATION FROM MURASOU

① 道路除雪にご協力ください！

雪が降る季節となりました。事故なくスムーズに除雪できるよう皆様のご協力をお願いします。

○除雪車には近づかないで！

除雪車の周辺は、運転手の死角となり危険です。除雪車には絶対に近づかないでください。

○道路に雪を捨てないで！

道幅が狭くなり、様々な事故の原因になりますので、敷地の雪は道路に出さないでください。

○寄せ雪処理にご協力を！

除雪後は宅地入口に雪が残ることがあります。各家庭や近所で協力し、寄せ雪の処理をお願いします。

○流雪溝のルールを守りましょう！

流雪溝に雪を入れるときは地区で決められたルールを守り、作業後は必ずフタを閉めましょう。

(村山総合支庁道路課 TEL:023-621-8193・西村山道路計画課 TEL:0237-86-8404・北村山道路計画課 TEL:0237-47-8669)

② 12月納税推進強調月間！

12月は県下統一の「納税推進強調月間」です。村山総合支庁と管内市町では自主納税・納期内納付の推進のため県税・市(町)税の口座振替を推奨しています。口座振替は一度手続きを行えば、毎回自動的に振替されるので、金融機関に出向く必要も、納付を忘れることもありません。

県税・市(町)税が納期限まで納付されない場合、財産を差し押さえることがあります。納付が難しい事情があれば、納税相談を受け付けますのでお早めに連絡をお願いします。詳しくは、納税課・市町担当課までお問合せください。(納税課 TEL:023-621-8135)

③ ノロウイルスによる食中毒に注意！

ノロウイルスによる食中毒は冬に多く発生しています。手洗いが不十分な手指や加熱不足の食品を介して口から感染しますので、**しっかり予防**しましょう！

◇手洗い: 指先、指の間、手首、親指の周り、洗い残しはありませんか？

石鹸を泡立て**しっかり洗い**、流水で洗い流しましょう。

◇加熱: 食品の中心部まで**しっかり加熱**しましょう。

◇消毒: 次亜塩素酸ナトリウム(家庭用漂白剤等)による消毒が有効です(アルコールでは十分な効果を得られません)。ドアノブ、トイレのフタ等手が触れる場所を**しっかり消毒**しましょう。

(生活衛生課 TEL:023-627-1185)

塩素系消毒薬の作り方
(5%の消毒薬を使用した場合)

予防的濃度
200ppm

500mL
ペット
ボトル



消毒薬 2.5mL
ハイター
ブリーチ等
ペットボトルの
キャップ
半分

④ 油断大敵！油流出事故にご注意を！

暖房を使う冬季は、油流出事故が増えます。河川の水は水道水や農業用水などに幅広く使われており、油流出事故により下流域の人々の生活に重大な被害を与えてしまうことがあります。また、事故対応の費用は、基本的に原因者が負担しなければなりません。

《油の流出事故を防ぐには》

▽灯油をホームタンクからポリタンクに小分けするときは**絶対にその場を離れない**ようにしましょう。

▽やむを得ずその場を離れる場合は、**一度元栓をしっかりと締める**ようにしましょう。

▽落雪からの給油配管の保護や、給油配管の場所に除雪時の目印の設置を行い、**破損の防止**に努めましょう。

▽油漏れを未然に防止するためにホームタンクや配管の**定期点検**を行いましょ。

事故発生時や発見時は、最寄りの消防署、市町または村山総合支庁環境課にご連絡ください。

(環境課 TEL:023-621-8419)

